

蟹原二丁目

小田 久美子 さん

第二のふるさと

結婚を機に、住み慣れた町を離れ、この海田町に引っ越してきました。当初は不安でいっぱいでしたが、ご近所の方が声を掛けてくださり、とても安心したのを覚えています。

結婚して六年が経ち、住めば都という言葉を実感しています。自然にあふれた町並みを見ると、心が安らぎ、第二の私の古里となりました。子育て支援サービスマスやブックサービスマスなど、子どもを育てるにも、とても良い環境です。

しかし、子どもが被害に会う悲しい事件が身近で起き、来年、小学校入学を控えた子どもを持つ親としては、心配でなりません。我が子だけでなく、未来を担う子どもたちが、安心して遊んだり、学んだりできる世の中を、私たちがつくっていかねければと思います。

そのために、地域密着の特性が生かされたら良いなあと思っています。「地域の子どもは地域で守る」という言葉を以前防犯セミナーで聞いたことがあります。今こそ実践の時だと私は実感しております。



声 この町に住んで

壺川町

はせがわ 長谷川

あい 愛 さん

海田町民となって



実家のある静岡から結婚を機に、私が海田町に住んで七年が経ちます。その間に、三人の子どもに恵まれ、育児中心の生活を送ってきました。海田町は親子サークルなど親子同士が知り合える場が充実しており、そのおかげで、まったく知人のいなかった私にとっては、子どもを持つことでたくさんの友人ができ、楽しく過ごしてこられたと思っています。

反面、子どもがいるため、利用しにくい状況があるのが駅です。海田市駅の階段は荷物に子ども、ベビーカーを抱えて昇り降りせねばならず、とても不便です。すでに検討されていますが、ベビーカーや車椅子、高齢者の方でも利用しやすいよう、エレベーター設置の早期実現とホームと電車の段差についても検討をお願いしたいと思います。